



碧南ロータリークラブ週報

第2660回例会 平成25年10月15日(水)

- 会長 長田 豊治
- 幹事 岡本 明弘
- 会場監督(SAA) 角谷 信二

2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 鈴木泰博・奥津順司・杉浦栄次



● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 本日のメニュー

衣浦グランドホテル

● 本日のお客様

第2760地区 ガバナー 田中正規様

第2760地区 地区幹事 榊原勝俊様

高浜 RC 青少年交換学生 トレントン・リンデンバーガー様

歓迎の辞 及び 会長挨拶

皆さん、こんにちは。本日は、第2760地区田中正規ガバナーと榊原勝俊地区幹事をお招きしての、碧南RC、高浜RC 合同の例会でございます。よろしくお願い致します。

本日も今から昼食を頂くわけですが、昨今の学校では「給食費を支払っているのだから、うちの子にいただきますと言わせないでください」という親がいるそうです。食事というものは、動物、植物に限らずその命を分けてもらうという意味で、心から「いただきます」と言い、食事を用意してくれた方々に感謝して「ごちそうさま」というものです。失われた日本の良き伝統を今一度思い起こして、本日のお食事をお召し上がりいただければと思います。有意義な例会となりますようお願い致します。



名倉隆司 高浜 RC 会長

青少年交換学生 ショートスピーチ

トレントン・リンデンバーガー様



僕は先月、日本の文化に触れました。岐阜県の郡上踊りに参加しました。その時、伝統文化というものを見つけました。初めて日本のお祭りというものを体験しました。

トレントン・リンデンバーガー様

次に高浜のおまんと祭りにも参加しました。馬が走っていてとてもおもしろく、お祭りの食べ物はとてもおいしかったです。アメリカのお祭りはあまり活気がありませんが、日本のお祭りはとても活気があると感じました。碧南高校での生活はとてもうまくいっています。

漢字の勉強も始めました。全ての事がとても楽しいです。

これからもよろしくお願いします。ありがとうございました。

委員会報告

<出席奨励委員会>

総会員数 66 名 (内出席免除者 9 名の内出席者 6 名)出席者 57 名	
出席対象者 57/62 名	出席率 91.94%
欠席者 9 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 85.93%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

第2760地区ガバナー 田中正規様、地区幹事 榊原勝俊様よりたくさん頂きました。

長田 豊治君 } 本日、2760地区田中ガバナー、榊原地区幹事にご出席頂き、碧南・高岡本 明弘君 } 浜RC合同例会が開催できますことを感謝申し上げます。ご指導のほど宜しくお願いします。

卓 話

第2760地区 ガバナー 田中正規様



田中正規ガバナー

本日はこのような和やかな雰囲気卓話をさせて頂き、ありがとうございます。本日はロータリーの歴史についてお話したいと思います。2つの歴史あるRCで、しかも私より大先輩方の前で歴史を話すのは大変おこがましいですが、よろしくお願い致します。

皆様もご存知かと思いますが、ロータリーが出来たのは1905年です。ポール・ハリスさんが、当時混沌とした社会で、ファーストネームで呼び合える真の仲間が欲しいとの事で、3人の仲間を集めて立ち上げたのが始まりです。鉱山技師のガスター・バス・ローアさん、石炭商のシルベスター・シールさん、仕立て屋のハイラム・ショーレーさん、弁護士のポール・ハリスさんです。シカゴ中心街にあるユニティビル711号室のローアさんの事務所を会場としていました。1954年にはシカゴの北郊エバンストンに移転しました。現在のビルの屋上にはロータリーの旗がたっています。

ある時勧誘した人から、「君たちのクラブは自分の好き勝手にやっていて、ちっとも外に奉仕しないから将来性がない。」と言われ、奉仕の精神に目覚めたと言われています。

シカゴで最初に行ったのが、反対する団体を市民の協力を得ながら説得し、公衆便所を作った事です。その後様々な奉仕活動を通じてロータリーは、多くの会員を集め、多くの国に広がっていきました。

1917年、アーチC・クランプRI会長が「世界で良い事をするために」基金の設置を提案しました。最初の寄付金はわずか26ドル50セントでした。それが後のロータリー財団となりました。

2017年で創立100周年になります。

1919年、シカゴで第1回のロータリー大会が開催されました。その年に海外で初めて、フィリピンのロータリークラブがロータリーに加入しました。

1921年、東京のロータリークラブが承認されました。

1922年、国際ロータリーRIがロータリーの正式名称となりました。今年の地区大会にはフィリピンの会長さんがRIの会長代理として来られるので、皆さんでお迎えして下さい。今年の地区大会は趣向が変わっております。それを味わって頂きたいと思います。

1923年9月、関東大震災が発生し、9万人を超える犠牲者が出ました。世界中のロータリアンから大量の寄付があり、東京のロータリアンは大変驚きました。世界のロータリーのネットワークを知り、団体としての活動に目覚めたきっかけとなりました。団体としての奉仕がなければ、米山奨学会やポリオ撲滅もなかったでしょう。

1940年、残念ながら太平洋戦争にて日本のロータリーは脱退しました。

1943年、「4つのテスト」が発表されます。世界で最も広く引用されている職業倫理の事です。

1945年に戦争が終戦し、1949年に国連憲章の基礎に貢献しました。ロータリーの支援は、その後の国連機関との協力関係に発展しております。

1945年は国連が出来た年でありましたが、日本が加盟出来たのはずっと後の1956年です。現在日本のロータリアンの数はアメリカ、インドに次ぐ第3位となっております。

1952年、2つの標語が発表されました。「Service Above Self」と「He profits most who serves best」です。「超我の奉仕」と「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる。」という

意味です。日本人の「奉仕」とアメリカ人の「奉仕」は少しニュアンスが異なる気が致します。アメリカでは奉仕をしなければ人から認められないので、奉仕活動がステータスになっております。

1952年、米山さんの功績を讃えまして、米山記念奨学会が発足致しました。1957年、この事業が日本全国の事業となりました。

今年の1月15日に、アメリカのサンディエゴの協議会に、ガバナーエレクトとして出席しました。前年度RI会長になられた田中作治さんがスピーチされておりました。何千人も入る会場で君が代が歌われておりました。私も大変感動致しました。ロンバートンさんは、「戦略計画」と「未来の夢計画」において中心的に活躍されておりました。

ロータリーの「戦略計画」は、ロータリーの方向性を決定づける重要な計画であります。異なる国や地域におけるロータリーの状況を調べ、課題を決定します。

より充実したプロジェクトになりますと、より大きな効果が生まれます。会員と支援者の増加になり、支援の拡大になります。そして、公共イメージの向上、寄付の増加、クラブの強化に繋がります。また更により充実したプロジェクトとなるのです。

「戦略計画」での重要項目3項目についてご説明致します。

まず、クラブのサポート強化についてお話致します。以下のポイント重要になります。

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・様々な奉仕活動へ参加するよう奨励する
- ・会員の多様性を増進する
- ・会員の勧誘と維持を改善する
- ・リーダーを育成する
- ・新クラブを結成する
- ・クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する

次に、人道的奉仕の重点化と増加についてです。

- ・ポリオを撲滅する
- ・以下の分野における奉仕の継続性を高める（新世代プログラム、ロータリーの6つの重点分野）
- ・他団体との協力や繋がりを深める
- ・会員の勧誘と維持を改善する
- ・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する

3つ目の重要項目は、公共イメージと認知度の向上です。

- ・イメージとブランド認知を調和させる
- ・行動を主体とした奉仕を推進する
- ・中核となる価値観を推進する
- ・職業奉仕を強調する

- ・ クラブにおけるネットワークの機会、およびクラブ独自の主な活動について周知を図るようクラブに奨励する

今年度のR I 会長の強調事項として、「会員の増強」、「ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実」、「ロータリーファミリーを通じたネットワークの充実」を掲げています。

「ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実」において、6つの重要項目を挙げています。「平和と紛争予防／紛争解決」、「疾病予防と治療」、「水と衛生」、「母子の健康」、「基本的教育と識字率向上」、「経済と地域社会の発展」です。

今年度の地区の方針です。「会員の意識向上」、「クラブのパワーアップ」、「地区の改革」、「会員増強」であります。また2760地区のキャッチフレーズは、「磨いて 輝こう」です。今年1年、自分も周りも磨いて輝いて下さい。

謝 辞

田中正規ガバナー、榊原勝俊地区幹事にはお忙しい中お越し頂き、誠にありがとうございました。田中ガバナーには卓話で、ロータリークラブの歴史から、ロンバートン会長の方針を大変分かりやすくお話をいただき、今後の活動の参考にしたいと思います。



長田豊治会長

7月からスタートしました本年度も、様々な事業が本格化してきます。私も自身の方針であります「ロータリーを楽しむ」を推進して頑張っていきたいと思います。田中ガバナーもお忙しい日々が続くと思いますので、くれぐれもお体にお気を付けいただき、益々のご活躍を心からお祈り申し上げ会長の謝辞といたします。本日は誠にありがとうございました。

次回例会案内

平成25年10月30日（水） 卓話「健康について」
NPO健康支援エクササイズ協会 理事：佐藤恵美子様

平成25年11月6日（水） ロータリー財団卓話
「ロータリー財団未来の夢計画について」
奨学基金学友平和フェロシップ委員会委員長
小島哲夫様（豊田中 RC）